

### 九州学院熊本地震復興募金にご協力を ～1号館(本館)以外は大規模半壊～

九州学院同窓会会長  
山崎恒雄氏(S21回)



4月中旬の熊本地震では甚大な被害が出て、在校生始め同窓生の方々にも被災者が多くいらっしゃいます。余震が続く中ではありますが、一日も早い復興を祈念します。

また、九州学院の校舎も、耐震補強工事を終えたばかりの1号館(本館)を除き、ほぼ半壊状態で仮設プレハブを利用した授業が展開されています。学校と同窓会で九学の災害復興募金を立ち上げたところです。皆様方のできる範囲でのご協力をよろしくお願いいたします。

また、同窓生より高森の南阿蘇鉄道の復旧にも力を貸して下さいという話がありました。そちらはインターネット上で、南阿蘇鉄道「希望の光」災害復興切符がセット1,000円で売り出されています。殆どの金額が南阿蘇鉄道復旧支援に使われるそうです。

さて、4月15日熊本地震の本震が発生する7時間ほど前に、同窓会総会のみを挙げてまいりました。東京同窓会の方々もお見えの中、予定通り議事は進行し、新しい役員承認も別記のとおり決まりました。これからの2年間を新事務局長始め、新任副会長など役員一丸となり業務にまい進してまいりますのでよろしくお願いいたします。

先般、同窓会元参与の小崎先生から、同窓会創立の貴重な文献を見つけました。とお知らせいただきました。「大江」というタイトルの中で、遠山先生を中心に第1回・第2回卒業生の方々が集まり、同窓会設立の必要性を論議し、立ち上げが行われたことが発起人の方々の名前とともに記載されていました。また、現在にも通用する「同窓会規約」も作成されていました。

ちなみに、その設立から数えると来年が100年目に当たります。来年3月が考えられますが、来年の大同窓会を100周年記念を含めた事業にしたいという拡大正副会長会での意見を基に、進めていきたいと思っています。28年熊本地震の後の元気を取り戻すきっかけとなる再起をかけた記念事業にしたいと思っています。

## 熊本地震により大同窓会は中止

### ～総会は開催、山崎会長を再任～



4月14日、16日の二度にわたり熊本を襲った大地震により、益城町や南阿蘇を中心に各地で甚大な被害を受け、幾多の尊い生命が奪われました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、天に召された方々の安らかな眠りをお祈り致します。

さて、最初の地震の翌日15日には、くしくも九州学院大同窓会の総会・懇親会が予定されていましたが、山崎恒雄同窓会会長、三浦陽二実行委員長を中心に役員で急遽連絡を取り合い、懇親会は中止、総会だけを開催することに決定し、学年幹事



発行  
九州学院同窓会  
責任者・山崎恒雄  
編集人・小手川勲  
熊本市中央区大江5丁目2-1  
九州学院内  
096-366-4533  
http://www.kyugakudousokai.jp/  
題字は  
紫垣正弘・元同窓会会長

を通過して参加予定の同窓生へ連絡を行いました。15日(金)18時30分より熊本ホテルキャッスルで行われた、「平成28年度九州学院同窓会総会」には、大変な状況にもかかわらず、既に熊本入りしていた東京、関西からの同窓生を含め50名程が参加しました。天井からの落下物の危険性もあるために、部屋ではなくロビーで行われました。

山崎会長等の挨拶のあと、平成27年度活動報告、平成27年度決算報告および監査報告、平成28年度活動計画、平成28年度収支予算について審議が行われ、いずれも拍手にて承認されました。また、今年度は役員改選の年にあたり、吉永彰一委員長より役員改選(案)が提案され、山崎会長以下の新役員が

### 2016年度 九州学院同窓会役員

顧問	齊藤 堅固(旧22回) 土山 研三(S8回)	阿部 英樹(S28回)
相談役	内村 公春 松村 敏人(S6回)	浅川 牧夫(S12回) 岡嶋 勇治(S14回)
会長	山崎 恒雄(S21回)	堀 公一(S18回) 緒方 徹(S18回)
副会長	川本 俊六(S23回) 小手川 勲(S24回)	廣島 秀二(S26回) 坂田 和洋(S31回)
監査役	大久保孝介(S32回) 橋口 武弘(S35回)	内田 敏規(S16回) 高野 正晴(S23回)
事務局長	木村 昭彦(S28回)	杉本 素一(S39回)
育英奨学委員長	吉岡 友章(S18回)	
広報委員長	小手川 勲(S24回)(兼任)	
企画委員長	松永 修尚(S34回)	
会員委員長	松永 修尚(S34回)	
若手の会会長	吉永 彰一(S36回)	橋本 武(S45回)

満場一致で承認され無事にお開きとなりました。最後にになりましたが、急な懇親会の中止にもかかわらず、キャンセル料が発生することなく收拾して頂きました。

### 2016同窓会年次事業計画

- 平成28年4月
  - 入学式に会長出席
  - 大同窓会実行委員会(以下、実行委員会「3・8のつく回」)
  - 平成28年度大同窓会総会・懇親会(熊本ホテルキャッスル)
  - 5月
    - 育英奨学金授与式
    - 育友会(P.T.A)総会で10年会費について依頼
  - 6月
    - 同窓会新聞発行
    - 役員会、実行委員会「3・8のつく回」反復会
  - 7月
    - 常任幹事会
  - 9月
    - 常任幹事会
  - 10月
    - 奨学生・給費生を励ます会
  - 3月
    - 高校卒業式に会長出席
- 11月
  - 高校3年役員に10年会費について依頼
  - 常任幹事会
  - 12月
    - 実行委員会「4・9のつく回」
    - 平成29年1月
      - 若手の会成人式
      - 実行委員会「4・9のつく回」
    - 2月
      - 常任幹事会
      - 実行委員会「4・9のつく回」
  - 秋の叙勲
    - 旭日小綬章
    - 瑞宝中綬章

九州学院同窓会の始まりについては、これまでではつきりしなかったことが判明していませんでしたが、大正6年12月25日発行の「大江」(当時の学友会機関誌)の中に、以下の記事がこのほど見つかりました。

これにより、同窓会の第1回の集まりは大正6年(1917年)3月13日、来年度丁度百年目にあたることから、次回の大同窓会を「同窓会設立100周年記念祝賀会」とすることが常任幹事会で提案される予定です。

### 2017年に九州学院同窓会設立100周年

「九州学院同窓会」の始まりについては、3月13日、第2回卒業式後、午後3時より卒業生大会を開く、当日集まるもの、第1、第2回合わせて約80名。初に遠山院長より、卒業生会の性質に就き詳説せられ、尋いで、「九州学院同窓会規則」の草案に就き審議せしに、議論百出して、帰る以下省略



九州学院同窓会創立100周年記念事業に向けての準備

### 支援活動を心に誓って ～九州学院のつながりに感謝～



日本福音ルーテル大江教会  
牧師 立野泰博(S31回)

熊本地震支援はいまも続けられています。大江教会(元九州学院教会)へも多くの支援が届きました。どの物資にも「こころ」が込められています。「ひとつも無駄にせず」。必要な所に必要な物を届けています。その中で、笑顔と茶封筒に力を頂きました。

17日、電気以外のライフラインはなく、益城、阿蘇の被害状況が知るにつれ、事の重大さを感じました。みどり幼稚園の赤ちゃん連れ親子が、3日も海苔しか食べてないという。「どぎゃんかせなん」と思っても途方にくれるばかりでした。そんな時、すぐに電話で必要なものを聞いて届けられたのは、鹿児島伊集院バプテスト教会(牧師長男が九学高3年に在学)からの緊急支援物資でした。離乳食を手にとった親子の涙は忘れられません。赤ちゃん救援物資を山ほど積んだワゴン車で来られ、その笑顔にどれだけの力をいただいたか。

次に高校時代の友が夜中に駆けつけてくれました。鹿児島から車を走らせ、自販機で水を買って届けてくれました。一般道で、しかも止まっては自販機で水を買って。何という暖かい思いやり。その水はまだ冷えていました。彼は帰り際に「妻のへそくり発見。自由に使ってよ」と茶封筒を差出しました。彼の奥さんは2年前に召天されています。彼のこの優しさと思ひやりでどれだけ支えられたことか。

最初に来てくださった方々は九州学院のつながり。これが私に支援活動の覚悟を決めさせました。神は助け手を必ず用意してくださる。

### 同窓生も多数被災

今回の熊本地震により、多くの同窓生の皆様も被災されました。県下各地、とりわけ阿蘇方面では、阿蘇神社(阿蘇治隆第92代大宮司・S23回)をはじめ南阿蘇鉄道(草村大成社長・S36回)、はな阿蘇美(中山謙吾社長・S25回)、阿蘇プラザホテル(稲吉淳一社長・S40回)、阿部牧場(阿部寛樹代表・S47回)、地獄温泉清風荘(河津進取締役専務・S37回)などで甚大な被害が生じています。

被災者の皆様に慎みてお見舞いを申し上げます。合わせて、一日も早い復旧・復興をお祈り致しております。

2月26日(金)、高校3年生の卒業式前の最終登校日の放課後、同窓会主催の「新卒業生クラス代表と同窓会役員懇親会」が行われました。阿部院長、山崎同窓会会長の挨拶の後、食前の祈りで同窓会が準備した弁当を食しながら和やかに談笑しました。

### 「新卒業生クラス代表と 同窓会役員懇親会」を開催

この制度は1981年の創立70周年記念事業の一環として、1983年から九州学院同窓会がはじめたものですが、昨年から九州学院「ナルドの壺基金」の中に組み入れられています。奨学生Aで合格した2月17日 小国郷九学会、7月2日 荅北支部、7月23日 九学天草会、東京九学会および関西九学会は中止となりました。

### 各地の同窓会

2月17日 小国郷九学会  
7月2日 荅北支部  
7月23日 九学天草会  
東京九学会および関西九学会は中止となりました。

### 同窓会育英奨学金を授与 今年も中高7名

6月8日(水)、九州学院(会議室)において九州学院同窓会の育英奨学委員会による奨学金の授与式が行われました。この制度は1981年の創立70周年記念事業の一環として、1983年から九州学院同窓会がはじめたものですが、昨年から九州学院「ナルドの壺基金」の中に組み入れられています。奨学生Aで合格した2月17日 小国郷九学会、7月2日 荅北支部、7月23日 九学天草会、東京九学会および関西九学会は中止となりました。



弟 信宏氏(S43回)

授業料免除の生徒たちの中から特に成績優秀と認められた若干名に毎月1万円(寮下宿生には2万円)が支給されます。今年度の育英奨学金支給対象者は新入生を含めて中学生4名、高校生3名となっております。この日は阿部九州学院院長、吉岡同窓会育英奨学委員長が激励の言葉を述べ、生徒一人一人に奨学金を手渡しました。

### 訃報(敬称略)

卒業回	氏名	逝去年月日	卒業校	訃年
113	大河内伊一郎	平27.7.12	高8	佐藤 守一
112	奥田 実	平27.6.25	高8	藤田 俊彦
111	釘宮 純雄	平27.6.25	高8	田島 照國
110	村田 勝	平27.6.25	高8	緒方 榮喜
109	桐原 史吉	平27.6.25	高8	工藤 康雄
108	河田 正二	平27.7.12	高8	西岡 英明
107	山田 純	平27.7.12	高8	山岡 隆夫
106	山田 純	平27.7.12	高8	吉川 健二
105	日隈 久人	平28.1.24	高8	森 哲夫
104	韓 龍門	平25.4	高9	笹 裕宣
103	田尻 恭一	平28.5.2	高9	高田 剛
102	浦部健一郎	平24.11	高9	河村 紀男
101	雨森 一	平27.2.2	高9	西本 剛正
100	鳴瀬 一	平27.2.2	高9	上野 和男
99	井上 元一	平28.5.19	高9	三角 鉄男
98	渡邊 清隆	平27.7.17	高9	橋本 靖士
97	帆定 望	平27.7.17	高9	高尾 要一
96	緒方 元夫	平27.7.17	高9	米村 誠二
95	白石 礼介	平27.7.17	高9	作本 和博
94	成尾 真吉	平27.7.2	高9	太田誠一
93	野村 亨	平27.7.2	高9	徳永 昭磨
92	矢野 晃	平27.5.15	高9	西川 勝義
91	合志 良夫	平27.5.15	高9	上田 祐三
90	田上 律雄	平27.5.15	高9	豊田 重
89	北里 正剛	平27.8	高9	和田 豊重
88	大熊 勇	平27.10.3	高9	清田 和宏
87	三宅 優	平27.10.3	高9	前田 弘昭
86	石田 民雄	平27.10.3	高9	野中 良昭
85	徳久 俊介	平27.11.7	高9	奥田 秀夫
84	中野 昭紀	平27.8	高9	田口 満徳
83	瀬藤 昌彦	平27.11.7	高9	山田 順一
82	山中 節雄	平26.11.7	高9	塩山 順一
81	中野 昭紀	平27.8	高9	大塚 幸博
80	多田 徳治	平26.6.11	高9	大塚 幸博
79	兼本 哲也	平28.3.15	高9	米満 正生
78	徳永 紀夫	平27.10.24	高9	工藤 正生
77	田中 春生	平27.11.24	高9	藤 正生
76	喜代門徹昭	平27.12.2	高9	米満 正生
75	岡田 清	平28.3.31	高9	藤 正生
74	岡田 清	平28.3.31	高9	藤 正生
73	大島 長	平28.3.13	高9	藤 正生
72	田中 利広	平28.3.13	高9	藤 正生
71	上妻 定	平27.10.16	高9	藤 正生
70	坂梨 若正	平28.2.18	高9	藤 正生
69	田上 弘道	平27.10.16	高9	藤 正生
68	松本 武	平27.10.16	高9	藤 正生
67	吉丸日出男	平27.10.16	高9	藤 正生
66	井島 四芳	平28.5.6	高9	藤 正生
65	白石 洋	平28.1.3	高9	藤 正生
64	那須 保光	平28.4.14	高9	藤 正生
63	増村 寛	平27.9.23	高9	藤 正生



九学OBで絵本作家の葉祥明氏(S17回)が東日本大震災に遭った少年の物語を描いた「あこのひのこと」の原画展が、南阿蘇村の葉祥明阿蘇高原美術館で開かれました。3月11日で大震災から5年。同美術館館長の葉山祥鼎氏(S19回)は「震災後、熊本



でも多く人が被災地に思いを寄せ支援活動をした。その気持ちを忘れたくない」と思いを語っています。

九学OBで絵本作家の葉祥明氏(S17回)が東日本大震災に遭った少年の物語を描いた「あこのひのこと」の原画展が、南阿蘇村の葉祥明阿蘇高原美術館で開かれました。3月11日で大震災から5年。同美術館館長の葉山祥鼎氏(S19回)は「震災後、熊本

でも多く人が被災地に思いを寄せ支援活動をした。その気持ちを忘れたくない」と思いを語っています。

2011年3月11日に発生した東日本大震災。津波の恐怖、ひとりぼっちで迎える不安な夜、そして家族との再会——と、ある少年が体験した「あこのひのこと」を軸に、家族の絆を支えられ、希望の光を見出すまでを繊細なタッチで描きます。想像をはるかに超える恐怖と不安を経験した少年が見つけた「希望」とは……? 家族の愛、

2011年3月11日に発生した東日本大震災。津波の恐怖、ひとりぼっちで迎える不安な夜、そして家族との再会——と、ある少年が体験した「あこのひのこと」を軸に、家族の絆を支えられ、希望の光を見出すまでを繊細なタッチで描きます。想像をはるかに超える恐怖と不安を経験した少年が見つけた「希望」とは……? 家族の愛、

高良健吾出演  
「うつくしいひと」  
熊本の復興に「役

今年1月に完成した行定勲監督の短編映画「うつくしいひと」が今静かなブームとなっています。同映画には九学OBの高良健吾氏をはじめ、橋本愛、石田えり、米村亮太郎、政治学者の姜尚中の各氏らが出演している。オール熊本ロケの約40分の作品です。行定監督が地元自治体などと製作実行委員会を立ち上げ、地震被害を受ける前の熊本を撮影されました。

### 拉致被害者松木薫氏(S24回) 一日も早い救済を 家族会 松木信宏氏(S43回)

まず、2016年4月14日の地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。



松木 薫氏

神奈川に住む私は、テレビで映し出された故郷の変わり果てた姿に絶句しました。しかし、SNS等で学院や先生方、同級生の無事がわかるたびに大変嬉しく思いました。私も両親の眠る納骨堂が被災しましたので、これを一日も早く復旧すべく頑張りたいと思います。

北朝鮮による拉致被害者として日本政府に認定されております私の兄、松木薫(S24)の件では、九学通信や同窓会報で幾度も掲載、応援を頂いておりながら、なかなか目に見える進展が見られず御心配をお掛けしております。2014年1月11日には、兄の帰国を待ち続けておりました母スナヨも力尽きました。また、横田早紀江さんの祈る会に参加し、兄の帰国を願い、私を支えて下さっていた上村希文先輩も天に召されました。被害者の家族会で親が会合に上京できるのは、横田夫妻と有本父のみとなりました。いたずらに時間のみが経過している感否めません。

政府拉致問題対策本部では国際社会に拉致問題を積極的に訴えています。国内では北朝鮮へのラジオ放送、大学生に向けた拉致問題啓発(佐賀大、秋田大など)、今夏は子供復讐ケ関見学ツアーで小学生を対象に私が話すことになりました。

家族は施策に可能な限り協力はできますが、主眼は、日本政府が主体的となって北朝鮮に交渉して被害者を取り戻さなければならない、他方本願ではいけないと歴代の大任、現在の加藤勝信拉致問題担当大臣にも直接申し上げてはいます。絡まった糸を解きほぐしていく様な交渉ですが、短気を起こさず、何が被害者の帰国にプラスになるかのみを考えて、頑張っております。

今後とも見守って頂ければ幸いです。